第１学年Ｃ組　国語科学習指導案

日　時：１０月３０日（金）
　　１４：００～１４：５０
場　所：１年Ｃ組教室
授業者：新井　良太

（１）単元名　価値を見いだす　「話題や展開を捉えて話し合おう」

（２）ねらい

話し合いのモデルを通して、考えを広げる話し合いをするには、話題や展開を捉えながら互いの意見を結び付けて考えることが大切だと気付き、小グループでの話し合いの中で経過を意識しながら、仲間の意見に自分の体験等を重ねて意見を支持したり、別の角度から意見を述べて視野を広げたりして考えをまとめることができる。

（３）本時における国語科で目指す生徒の姿

・小グループでの話し合いの場面で、話し合いの展開の中で即時的に、自分の体験を仲間の意見に重ねて話したり、別の角度からの意見を話したりしようと、発言内容を検討している姿。
・ペアや個人で話し合いを振り返る場面で、考えを広げるための話し合いにおいて効果的だった発言や効果的だと考えた理由を検討したり、自分の発言に必要だったことを検討したりして、今後の話し合う場面につなげようとしている姿。

（４）展開（第３時／全４時）

過程	学習活動	研究に関わって
導入　見通しをもつ	**○前時の内容を確認し、本時の学習内容をつかむ。** ・今日は、前回考えた自分の意見を使って、グループで話し合う時間だ。仲間と一緒に話し合うことを通して、自分の考えを広げられる話し合いにしたい。 **○「話し合いのモデル」を通して、本時の学習課題をつかむ。** ・話し合いのモデル内の発言（A）は、仲間の発言を聞き、仲間の意見に対して、自分の体験を根拠として話して、意見を支持していた。 ・話し合いのモデル内の発言（B）は、別の角度からの考えを示して、みんなの考えが広がる発言をしていた。 ・つまり「仲間の意見を結び付ける」とは、意見を支持することと、別角度からの意見で考えを広げることだな。 「本当のやさしさ」について考えを広げるために、仲間の意見に結び付けて話す。	【研究内容２－②】 ・「単元を通して活用する振り返りシート」を用いることで、生徒の学びに対する意識が連続するように支援する。 【研究内容１－②】 ・「話し合いのモデル」を通して、目的を達成できる話し合いについて考えることで、生徒が「目指す姿」と「学び方」を理解し、本時の見通しをもてるようにする。
高める	**○小グループ（４～５名）で話し合いを実践する。** **○進行役が、話題と目的を確認する。** ・「本当のやさしさ」について語り合います。目的は、自分の考えを広げることです。まずは、１人ずつ意見と考えを話してください。 **○１人ずつ、意見と根拠を説明する。意見を話す時には、付箋を貼る。** ・私（生徒A）は、「本当のやさしさ」とは、「相手のことを思って行動すること【意見：付箋黄】」だと思います。私は、辛い思いをしたときに、長い時間を使って話を聞いてもらい救われたことがあります【根拠：付箋緑】。自分の時間を割いてまで、相手に寄り添って行動することは、やさしい気持ちがあるからできることだと思います【理由付け】。 **○語り合って、考えを深める。【結び付けて発言し、考えを広げる場】** **《意見を支持する発言（例）》** ・私（生徒B）は、生徒Aさんと同じで「相手のことを思って行動すること【意見】」だと思います。私も、困った時に手を貸してもらい救われたことがあります【根拠】。とても嬉しくて、あたたかい気持ちになれたので、優しい行動だと思います【理由付け】。 **《別角度からの発言（例）》** ・私（生徒C）は、生徒Aさんの話を聞いて「相手のことを思って行動すること」に納得しました【意見】。部活動で厳しく指導してもらって、乗り越えて成長できたことがありました【根拠】。厳しくても、相手の成長を願っていれば、それは優しさだと思います【理由付け】。 **○話し合った内容をまとめる。【話し合いの内容を結び付けて、考えをまとめる場】** ・話し合いを通して、私（生徒A）は「本当のやさしさ」とは、やはり相手のことを思って行動することだと思います。また、生徒Cさんの話を聞いて、やさしさには厳しさあるという考えに納得しました。寄り添ったり、厳しくしたりするなど、相手のことを思うことが「本当のやさしさ」だと思います。 **《見取りについて》** B：「語り合って、考えを深める」場面において、仲間の意見に自分の体験等を重ねて意見を支持したり、別の角度から意見を述べて視野を広げたりする発言をしている姿や、話し合いの前には準備していなかった考えを付箋に書いて付け足している姿。	【研究内容１－③】 ・付箋を活用して話し合いでの意見を可視化することで、結び付ける意見を考える際の手助けとなるようにする。 【研究内容２－①】 ・指導事項の系統と、言語活動の特徴から、本時の付けたい力を明らかにして評価規準を設定し生徒の姿の具体を描くことで、話し合いの中で生徒の姿を的確に見取り、認めたり方向付けたりできるようにする。
自己の学びを振り返る	**○ペアで話し合いを振り返り、学習による高まりを実感する。** ・私（生徒B）は、生徒Cさん（ペアの交流相手）の発言を聞いて、「本当のやさしさ」には、「厳しさ」もあるのだと実感できた。だから、生徒Cさんの発言は、話し合いを広げるための別の角度からの発言で、いい発言だったと思う。 ・私（生徒C）は、生徒Bさん（ペアの交流相手）の発言を聞いて、「相手のことを思って行動すること」には、色々な場面があるのだと思い、考えが広がった。 **○各自で本時の学びを振り返り、次時への見通しをもつ。** 私（生徒B）は生徒Aさんの意見に対して、前回の時間には考えていなかった自分の体験を使って、生徒Aさんの意見を支持する発言ができました。ペアと振り返った時に、私の発言が、生徒Cさんの考えを広げることにつながっていたことも分かりました。また、話し合いの中での生徒Cさんのような別角度からの発言があると、自分だけで考えている時には考えられなかったことまで、考えが広がりました。これからの話し合いの場にもつなげていきたいです。	【研究内容２－②】 ・振り返りの視点として、「考えを広げる話し合いにおいて効果的だった発言」を示すことで、次回の単元の振り返りに繋げられるようにする。 **【評価規準】** **思考・判断・表現Ａ（１）オ** 話し合いの経過を意識しながら、仲間の意見に自分の体験等を重ねて意見を支持したり、別の角度から意見を述べて視野を広げたりして考えをまとめている。 **【評価方法】** ・付箋記述　・発言 ・行動観察　・振り返り記述